



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagova-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 輝喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3001

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,004	3.0	42	53.7	86	△5.5	62	△5.3
27年3月期第1四半期	9,708	3.9	27	77.4	91	36.2	66	42.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.53	—
27年3月期第1四半期	3.71	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	14,992		12,374			82.5
27年3月期	14,687		12,307			83.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 12,374百万円 27年3月期 12,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,300	2.0	70	62.9	140	9.5	100	11.5	5.61
通期	42,600	2.2	170	28.8	290	10.9	170	70.0	9.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	19,269,000 株	27年3月期	19,269,000 株
28年3月期1Q	1,452,706 株	27年3月期	1,452,706 株
28年3月期1Q	17,816,294 株	27年3月期1Q	17,907,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、経済政策や金融緩和策を背景に、企業業績や雇用、所得環境に持ち直しの動きが見られるなど、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、欧州の金融不安に加え、新興国経済の成長鈍化などの海外景気動向もあって依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、水産物需要の低迷や競争激化による市場物流の低下が継続し、為替や海外の需要増により水産物の調達コストが上昇傾向にあって、利益を圧迫する要因となるなど、厳しい経済環境が続いております。

この結果、売上高は、卸売部門が取扱数量は減少したものの、販売単価の上昇で増収となり、飼料販売が順調な受注で伸長するなど10,004百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。利益面については、営業利益は、売上総利益率が悪化したものの一般管理費の削減により42百万円(前年同四半期比53.7%増)となりましたが、営業外収益の減少などにより四半期純利益は62百万円(前年同四半期比5.3%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、メジの不漁、アユの価格高による荷動き悪化、輸入キハダ、ホタテ貝柱の入荷減による売上減はあったものの、国内物の生鮮キハダ、ヤリイカが豊漁により入荷増となり、ウナギが価格安から順調な荷動きで売上を伸ばし、養殖本マグロや車エビ、ブリ類が順調な販売となるなど全体で増収となりました。

冷凍魚は、冷鮭鱒が高値による荷動き悪化で売上減となり、南北凍魚が取扱数量減の単価高で前年並みの売上となりましたが、冷凍エビがアルゼンチンアカエビを中心に価格安で取扱増となり、冷ズワイガニが原料販売の増加で伸長するなど全体で微増収となりました。

塩干魚は、チリメンが漁に恵まれ入荷増となり、サバ製品が堅調な荷動きで伸長しましたが、アジ、ホッケなどの開き物や魚漬物が原料事情から売上減となり、純煉製品、玉子製品が値上げの影響から取扱減となり、原料販売も振るわず、全体で減収となりました。

この結果、売上高は9,285百万円(前年同四半期比1.6%増)、営業利益98百万円(同22.4%増)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料は、国内用飼料がシラスの池入れ量の減少により売上減となったものの、輸出用飼料の取扱数量が増加したことに加え、水産向魚粉を含め、原料高の製品価格への転嫁が進み、増収となりました。

この結果、売上高は455百万円(前年同四半期比44.5%増)、営業利益は31百万円(同2.5%減)となりました。

(食品加工場部門)

切りイカなどの佃煮原料、イカスライスなどの委託加工が増加しましたが、ポット商品、ピロ商品などが少量小口化で伸び悩み、加えて原料高からの値上げ対応が難しく減収となりました。

この結果、売上高は92百万円(前年同四半期比6.0%減)、営業損失は12百万円(前年同四半期は営業損失10百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

鮮魚、青果貨物、液卵などの搬入減や、大手寄託者の外国貨物の取扱い減少がありましたが、同業他社の再保管貨物の増加などにより増収となりました。

この結果、売上高は143百万円(前年同四半期比13.3%増)、営業利益は16百万円(同18.3%減)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は27百万円(前年同四半期比3.6%減)、営業利益は15百万円(同2.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,992百万円となり、前事業年度末に比べ305百万円(2.1%)増加しました。これは主に、有価証券の減少99百万円、受取手形及び売掛金の減少81百万円などがありましたが、投資有価証券の増加211百万円、原材料及び貯蔵品の増加145百万円、現金及び預金の増加137百万円などによるものであります。

負債は、2,617百万円となり、前事業年度末に比べ237百万円(10.0%)増加しました。これは主に、買掛金の増加240百万円によるものであります。

純資産は、12,374百万円となり、前事業年度末に比べ67百万円(0.5%)増加しました。これは、利益剰余金の減少8百万円がありましたが、その他有価証券評価差額金の増加75百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成27年5月15日発表の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,842,971	2,980,214
受取手形及び売掛金	1,963,215	1,881,627
有価証券	3,499,996	3,400,000
商品及び製品	1,013,822	1,007,062
仕掛品	40,926	71,334
原材料及び貯蔵品	291,948	437,873
その他	64,122	89,602
貸倒引当金	△12,685	△12,178
流動資産合計	9,704,317	9,855,535
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	993,526	974,050
その他(純額)	742,912	741,163
有形固定資産合計	1,736,439	1,715,213
無形固定資産	10,189	14,424
投資その他の資産		
投資有価証券	2,305,190	2,516,322
その他	973,908	933,024
貸倒引当金	△42,768	△42,053
投資その他の資産合計	3,236,330	3,407,293
固定資産合計	4,982,960	5,136,931
資産合計	14,687,277	14,992,467
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,364,504	1,605,230
受託販売未払金	127,061	112,400
未払法人税等	25,280	32,706
賞与引当金	53,700	17,930
役員賞与引当金	12,500	—
その他	235,399	298,157
流動負債合計	1,818,446	2,066,424
固定負債		
退職給付引当金	472,392	463,430
その他	89,257	88,077
固定負債合計	561,649	551,507
負債合計	2,380,096	2,617,932

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,117,602	10,109,222
自己株式	△591,852	△591,852
株主資本合計	12,021,521	12,013,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	285,660	361,392
評価・換算差額等合計	285,660	361,392
純資産合計	12,307,181	12,374,534
負債純資産合計	14,687,277	14,992,467

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,708,527	10,004,585
売上原価	9,230,226	9,529,369
売上総利益	478,300	475,216
販売費及び一般管理費	450,857	433,028
営業利益	27,442	42,188
営業外収益		
受取利息	3,138	2,967
受取配当金	24,894	29,221
受取補償金	23,313	—
その他	12,488	11,862
営業外収益合計	63,834	44,051
営業外費用		
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	91,277	86,239
税引前四半期純利益	91,277	86,239
法人税、住民税及び事業税	39,370	32,758
法人税等調整額	△14,533	△9,404
法人税等合計	24,837	23,353
四半期純利益	66,439	62,885

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,139,565	315,528	97,925	126,774	28,732	9,708,527	—	9,708,527
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,073	—	2,928	25,775	—	34,776	△34,776	—
計	9,145,639	315,528	100,854	152,549	28,732	9,743,304	△34,776	9,708,527
セグメント利益 又は損失(△)	80,397	31,978	△10,843	19,674	16,248	137,455	△110,012	27,442

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△110,012千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,285,227	455,920	92,091	143,649	27,697	10,004,585	—	10,004,585
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,463	—	2,710	24,740	—	53,914	△53,914	—
計	9,311,691	455,920	94,802	168,389	27,697	10,058,500	△53,914	10,004,585
セグメント利益 又は損失(△)	98,376	31,190	△12,859	16,081	15,860	148,649	△106,461	42,188

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△106,461千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。